



日鶏協ニュース

2024年11月号
一般社団法人日本養鶏協会

INDEX

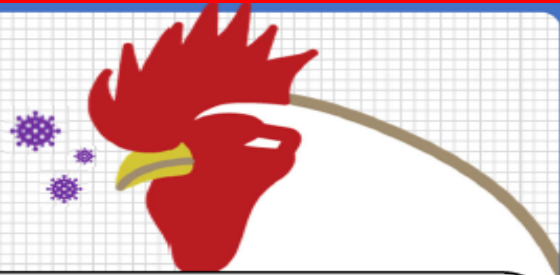
- ・高病原性鳥インフルエンザ 防疫対策徹底のポイント 1-2
- ・第9期家畜防疫互助基金支援事業の加入状況について 3
- ・令和6年10月始期鳥インフルエンザ経営再建保険加入状況について 4
- ・「いいたまごの日」(11月1日) イベント実施報告 5-6
- ・中央鶏卵規格取引協議会 令和6年度鶏卵規格取引研修会の開催について 7
- ・統計データ 8
- ・協会活動報告 9

高病原性鳥インフルエンザ 防疫対策徹底のポイント

今シーズン、高病原性鳥インフルエンザ流行の兆しが見えます。防疫対策の発生予防・まん延防止対策に万全を期すよう、改めて再徹底をお願いします。

対策のポイント

高病原性鳥インフルエンザ



- 渡り鳥の飛来により、今シーズンも高病原性鳥インフルエンザウイルスが我が国に侵入するリスクは極めて高い状況です。
- 本病の発生を予防するため、地域におけるリスク低減対策を推進し、いま一度、農場におけるウイルス侵入防止対策を強化しましょう。

農場における発生予防対策

農場へのウイルス侵入防止対策の強化

飼養衛生管理の基本的な管理項目を毎月点検し、不備があれば改善。

人、物、車両の入出時対策

- ・衛生管理区域専用の衣服や靴の使用。
- ・着用前後で交差のない動線、明確な境界を確保。
- ・適切な車両消毒、手指消毒の実施。
- ・家さん舎ごとの専用の靴の使用。

野生動物の侵入防止、誘引防止

- ・畜舎の壁、防鳥ネット等の破損修繕。
- ・特にネコ、イタチ、カラス等の侵入を防止
- ・ねずみ及び害虫の駆除
- ・鶏卵・鶏糞の搬出口に覆いを設置。
- ・餌置場の清掃、死体や廃棄卵の適切な処理など誘引を防止。

重点対策期間

渡り鳥の飛来が本格化する前の9月中には防疫体制を整備。
10月から翌年5月までは警戒を強化。
特に11月から翌年1月までは重点対策期間。

健康観察と異状の早期発見

家さん所有者は毎日の健康観察を入念に行い、異状を認めた場合は速やかに管轄の家畜保健衛生所に届け出。

野鳥・野生動物対策

- ・農場周辺のため池は、水抜きや忌避テープの設置等により野鳥の飛来を防止
- ・農場周辺にカラス等の野鳥を誘引する施設や生息に適した環境がある場合は解消
- ・野鳥等への安易な餌やり等の中止



近年の発生地域ではリスクが高いことを認識し、特に重点的に対策を徹底。

家畜保健衛生所、産業動物獣医師など第三者の視点も活用して対策を向上させましょう。



MAFF
農林水産省

飼養家さんの異状を見つけた場合は、最寄りの家畜保健衛生所に連絡。

TEL

家畜保健衛生所

農林水産省HP
「鳥インフルエンザに関する情報」





一斉点検の要チェックポイント（家きん）



①衛生管理区域に病原体を持ち込まない！

- 手指の洗浄・消毒をしていますか？
- 車両の消毒をしていますか？
- 専用の衣服や靴の確実な着用ができていますか？

✖ 境界に更衣や消毒の設備がない

◯ 車両の消毒、専用の衣服や靴の着用

タイヤの溝やタイヤハウスもしっかりと！

②家きん舎に病原体を持ち込まない！

- 手指の洗浄・消毒をしていますか？
- 専用の靴の確実な着用ができていますか？

✖ 専用の長靴が用意されておらず、
出入り時の動線も不明瞭

◯ 専用の長靴の着用、すのこ等を用いた靴の
履き替え時の動線の交差防止

③野生動物を近づけない！侵入させない！

- 防鳥ネット等は家きん舎のみでなく、堆肥舎等にも設置していますか？
- 破損箇所や開口部の隙間は速やかに補修していますか？
- ネズミや害虫の駆除は定期的に行っていますか？

✖ 壁や金網に破損があり、
補修されていない

補修はしっかりと！

屋根裏内部やモニター開口部
も破損がないか要確認！

◯ 集卵ベルトの開口部や堆肥
舎も隙間がないように対策
している

野鳥が多い地域
は特に注意！

鶏舎全体を防鳥ネットで覆った事例



第9期家畜防疫互助基金支援事業の加入状況について

令和6年7月より募集を開始しました第9期家畜防疫互助基金支援事業の加入状況は、次のとおりとなっています。

第9期家畜防疫互助基金支援事業参加状況(R6.11.1現在)

畜種 項目	契約戸数 (戸)	契約羽数 (羽)	積立額 (円)
家きん合計	1,318	235,754,998	1,156,589,825
うち採卵鶏成鶏	492	120,059,762	947,389,364

(参考:第8期当初積立)

畜種 項目	契約戸数 (戸)	契約羽数 (羽)	積立額 (円)
家きん合計	1,713	284,526,895	1,610,058,377
うち採卵鶏成鶏	648	131,037,264	1,292,176,704

家畜防疫互助基金支援事業への加入は受け付けていますので、まだ加入手続きがお済みでない方はお早めに手続きをお願いします。

【お問い合わせ】

業務第1部 野澤、北村、藤居

TEL : 03-3297-5515



令和6年10月始期鳥インフルエンザ経営再建保険の加入状況について

令和6年10月1日より補償が開始されました鳥インフルエンザ経営再建保険につきましては、7月下旬に募集を開始し、9月6日に申込みを締め切らせていただきました。

その加入状況は、次のとおりとなっています。

		1型	2型	3型
加入申込件数	515	461	50	4
(前回)	(570)	(511)	(55)	(4)
農場単位件数	1,048	957	80	11

注：1型＝鳥インフルエンザ補償のみ

2型＝鳥インフルエンザ補償＋自然災害補償

3型＝鳥インフルエンザ補償＋自然災害補償＋熱波寒波補償

補償	項目	鶏舎種類	加入羽数(羽)	保険料(円)
インフルエンザ保険		成鶏舎	80,936,100	757,344,600
		育成鶏舎	22,983,600	106,544,700
		合計	103,919,700	863,889,300
		前回比(%)	101.1	110.3
自然災害補償		成鶏舎	3,002,000	10,282,560
		育成鶏舎	664,000	900,900
熱波寒波補償		成鶏舎	211,300	2,725,770
		育成鶏舎	29,000	156,600

多くの方々から、加入の申込をいただきありがとうございました。

【お問い合わせ】

業務第1部 野澤、青木、藤居

TEL : 03-3297-5515



「いいたまごの日」(11月1日) イベント実施報告

【日時】 令和6年11月1日(金) 10:00-

【場所】 仙川キューポート・キューピーマヨテラス
(東京都調布市仙川町 2-5-7)

11月5日は「いいたまご(1105)の日」。今年も一般社団法人日本卵業協会、一般社団法人日本養鶏協会の共同開催にて、農林水産省の後援を受けイベントを開催いたしました。

日鶏協の彦坂副会長(普及啓発委員長)、日卵協の服部会長は、審査員としてイベントに参加し、開会・閉会のあいさつをいたしました。

行事の概要は、まず10回目を迎える「たまごニコニコ料理甲子園」。今年は、全国から1,014件の応募があり、予選を勝ち抜いた全国6地域の高校生選手による創作料理の調理について厳正な審査を行い、グランプリを筆頭に6賞の受賞が発表されました。



グランプリ受賞作品

「身も心も温まる卵雑炊」
中部エリア：内海さん



準グランプリ受賞作品

「らんらん海老シュウマイ」
九州・沖縄エリア：緒方さん



その他

- | | | |
|------------|--------------------|----------------|
| ○ 栄養満点賞 | 「真っ白すぎるオムライス」 | 中国・四国エリア：港元さん |
| ○ デリシャス賞 | 「夏にぴったり つるつる卵そうめん」 | 近畿エリア：溝脇さん |
| ○ アイデア賞 | 「たま天箱」 | 北海道・東北エリア：清野さん |
| ○ 彩(いろどり)賞 | 「ミルクレープオムライス」 | 関東エリア：徳竹さん |



きじまりゅうたの料理ショー



後半は、決勝進出した高校生選手を対象とした、料理研究家きじまりゅうた先生による実演・講演を実施。きじま先生の軽妙なトークを交えつつ、2種類の料理を紹介。参加者の皆さんは、午前中の緊張・疲れも忘れ、先生と一体となり新しいメニューの体験を楽しんでいました。



豚肉とキノコのピリ辛たまご炒め



ダブルたまごの親子丼

「いいたまごの日 ロゴマーク」をご活用ください

マークのご利用を希望される方は、下記のWEBサイトをご参照の上、当協会までご連絡ください。

■「いいたまごの日 ロゴマーク」の使用について

<http://www.jpa.or.jp/news/gyosei/20191011/>



【お問い合わせ】

業務第3部 TEL:03-3297-5515



令和6年度 鶏卵規格取引研修会の開催について

中央鶏卵規格取引協議会は、令和6年度鶏卵規格取引研修会を開催しました。この研修会は、鶏卵規格取引要綱（農林水産事務次官通知）第5に基づき、鶏卵の格付け責任者（卵重計量責任者）となる方を対象にその資格を得るために開催するものです。本年は、10月18日（東京：KFC Hall & Rooms）及び11月1日（京都：JA 京都ビル）で開催され、計約170余名の方が受講され、盛会のうちに終了しました。



研修会には、農水省食肉鶏卵課の担当官、消費者庁食品表示課及び同庁表示対策課の担当官、学識経験者及び鶏卵公正取引協議会担当者を講師として



お招きし、それぞれ、

- (1) 鶏卵をめぐる情勢
- (2) 鶏卵の規格と品質
- (3) GPセンターの衛生管理
- (4) 食品表示制度の概要及び生鮮食品（鶏卵）の表示
- (5) 景品表示法の基本的な考え方
- (6) 鶏卵の表示に関する決まり

について講義をいただき、鶏卵を取り巻く最新の情報や最新の法律・規約の変更点も含め、鶏卵の格付け責任者にとっても、資格を得るだけでなく必要不可欠な最新の知識・情報を取得する機会となりました。

中央鶏卵規格取引協議会では、来年度も本研修会を開催する予定です。

【お問い合わせ】

中央鶏卵規格取引協議会 事務局（担当：石井、阪本、安部）

TEL：03-3297-5515 FAX：03-3297-5519



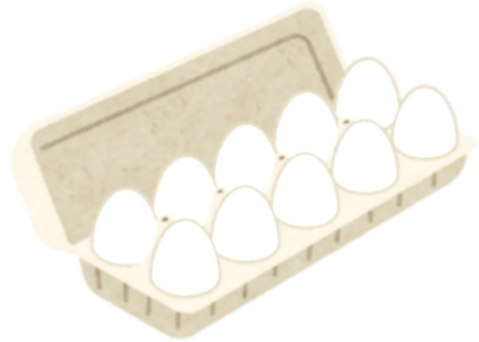
統計データ



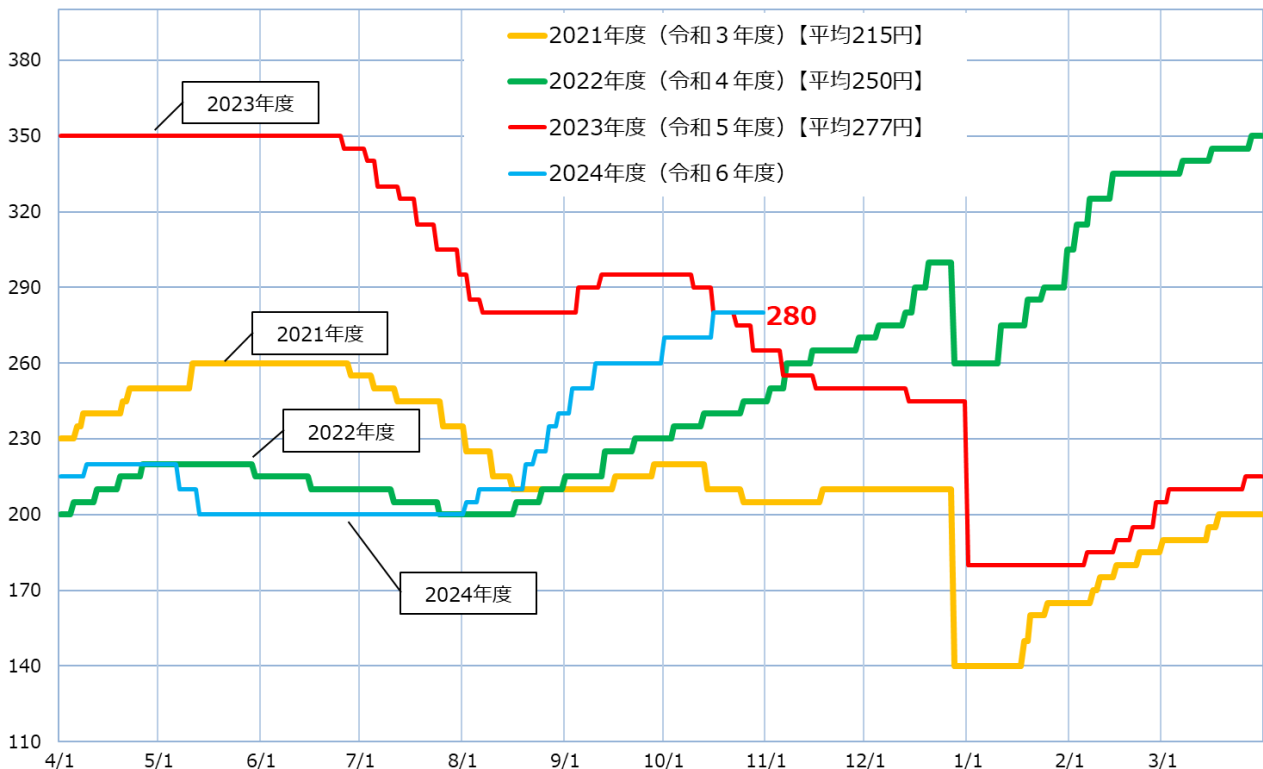
鶏卵相場動向 — 過去10年間の10月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成27年	250	268	244
平成28年	211	233	194
平成29年	211	243	191
平成30年	194	213	184
令和元年	204	228	194
令和2年	164	185	154
令和3年	213	240	199
令和4年	239	267	224
令和5年	283	319	259
令和6年	275	304	264
平均値	224	250	211

令和6年10月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値304円は、過去10年の平均値250円を54円上回り、安値264円は、過去10年の平均値211円を53円上回っています。



鶏卵相場推移 2021年度～2024年度 東京全農Mサイズ 円/kg



鶏卵相場は9月末の260円から価格が上がり10月末では280円に上がりました。



鶏卵関係主要計数 —— 令和6年8月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比★	数量(g)	前年比	前年	本年
5年 9月	8,053	102.9%	427	92.4%	849	96.2%	223	292
10月	8,801	104.7%	457	97.3%	891	93.2%	239	283
11月	8,671	98.9%	466	96.6%	876	96.2%	262	254
12月	9,584	105.6%	501	98.4%	951	100.8%	284	247
6年 1月	7,545	89.0%	456	102.3%	898	100.0%	280	180
2月	7,631	92.1%	453	106.9%	891	105.0%	327	190
3月	8,325	87.9%	464	97.4%	928	112.1%	343	211
4月	8,283	95.0%	478	108.2%	876	103.6%	350	219
5月	8,046	86.1%	477	102.2%	937	112.5%	350	204
6月	8,057	83.6%	439	97.9%	906	110.8%	349	200
7月	8,539	91.6%	450	105.4%	837	102.9%	320	200
8月	7,789	89.6%	434	99.2%	864	100.5%	282	217
1年間合計 平均(%)	99,324	93.9%	5,502	100.4%	10,704	102.8%	301(平均)	225(平均)

- ・雛餌付羽数は、7,789千羽（前年比 89.6%）と前年比 10.4%減となりました。
- ・配合飼料出荷量は、434千トン（前年比 99.2%）と前年比 0.8%減となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、864グラム（前年比 100.5%）と前年比 0.5%増となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の 65 円安を示しました。
- ・配合飼料出荷量 前年比★は、生産量の前年比となります。

協会活動報告



鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

① 価格差補填事業参加者の

契約数量（単位：t）

令和 3 年度	1,840,695
令和 4 年度	1,794,699
令和 5 年度	1,731,712
令和 6 年度	1,824,301

② 標準取引価格

令和6年10月 272.79 円/kg

③ 令和6年度

鶏卵生産者経営安定対策事業の基準価格

補填基準価格 222 円/kg

安定基準価格 202 円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)

Tel：03-3297-5515 Fax：03-3297-5519 発行日：2024年11月7日

編集・発行責任者：石井 馨(info@jpa.or.jp)